

チェルノブイリの子どもたち



チェルノブイリ子ども基金 NEWS No. 130 2025年2月14日発行

ウクライナ・オヴルチ子ども芸術アカデミーの子どもの絵 絵画展

- 2025年2月17日(月)～3月1日(土)
※2/23(日)と2/24(月・祝)は休み
東京新聞(中日新聞東京本社)1階ロビー 東京都千代田区
- 2025年3月11日(火)～3月24日(月)
市民交流センター(パーティセと3階) 愛知県瀬戸市
(各会場の詳細は本文 p.2)



左の絵：
『お祝いの日のために冬がもみの木を橇で運んできた』



上の絵：『イワーナ・クパーラ(夏至祭)』



右
上…チェルノブイリ救済カレンダーを
手にするウクライナの子ども
右
下…同カレンダーを手にするベラルーシ
の親子

*** 目次 ***

p.2 オヴルチ子ども芸術アカデミー絵画展
p.3 ナロジチの子どもたち
p.4 2025年支援計画
p.5~6 ウクライナからの便り

p.7 里親のページ
p.8 チェルノブイリの歌声
p.9 クリスマス・新年会
p.10 2024年度決算報告書
p.11 募金・救済状況

ウクライナ「オヴルチ子ども芸術アカデミー」 絵画展

子ども基金が支援を続けているウクライナ「オヴルチ子ども芸術アカデミー」の教室に通う子どもたちの絵画展が東京都内と愛知県瀬戸市の2か所で開催されます。新しい作品も届きましたのでこの機会にぜひご覧ください。(いずれも入場無料)

戦禍の子どもたち～ウクライナの絵画展～

(東京都千代田区)

2025年2月17日(月)～3月1日(土)
午前10時～午後5時

※2/23(日)と2/24(月・祝)は休み

会場：東京新聞(中日新聞東京本社)1階
正面玄関ロビー

東京都千代田区内幸町2-1-4

最寄り駅：東京メトロ千代田線、日比谷線、丸ノ内線霞ヶ関駅C4出口すぐ。都営三田線内幸町駅A7出口から徒歩5分

共催：東京新聞(中日新聞東京本社)

チェルノブイリ子ども基金

協力：非核・平和を求める写真・絵画展事務局

「ロシアがウクライナに侵攻して2月24日で3年となるのに合わせ、空襲警報が続く街でアカデミーに通う8～17歳の作品43点を集めた。うち12点は、1月に届いたばかりのガラス絵。作品には平和への願いや将来の夢、支援への感謝が込められている。描いた子のメッセージなども合わせてパネルで紹介。戦況や外交の報道だけでは伝えきれない、現地の暮らしや描いた子の気持ちに思いをはせる。会場では期間中、チャリティーカレンダーの販売や支援に充てる寄付金を募る」

戦禍の中のウクライナ・

子どもたちの絵画展 (愛知県瀬戸市)

2025年3月11日(火)～3月24日(月)

午前9時～午後9時 ※最終日は17時終了

会場：市民交流センター(パルティセと3階)

愛知県瀬戸市栄町45番地

最寄り駅：名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅(駅前)

主催：非核・平和を求める写真・絵画展事務局

連絡先：0561-58-7568(杉浦)

協力：チェルノブイリ子ども基金

「子どもたちの絵をみて、遠い国の事ではなく自分の問題として捉える一歩としてほしい。

平和でなくては子どもたちの未来を考えられません。戦争の悲惨、苦しみを子どもたちに背負わせることはできません。核廃絶を願い非戦を訴える声を私たちは出し続けます」

両会場で展示される絵の一部を紹介します。

- 表紙の絵・上：ポリーナ(10歳)「一日も早く戦争が終わり、クリスマスやお正月をみんな楽しく祝える時のやってくることを願っています」
- 表紙の絵・下：ソフィヤ(11歳)「将来は花屋さんになって、美しい花束で人々を喜ばせたい」

- 『冬がやって来て鳥たちを家に呼び戻した』



ダリヤ(10歳)

戦争が終わったらウクライナの子どもたちがみんな家に帰ってくることを願っている。鳥たちが他の国から戻ってくるように。将来の夢は看護師になること。



ダリヤ

ウリヤーナ



- 『楽しい冬まつり』ウリヤーナ(11歳)

楽しい冬休みを願いながら描いた。将来は獣医になって動物の治療をしたい。

ウクライナ ナロジチの子どもたち

昨年（2024年）の夏の保養に参加した子どもたちの元に、「2025年子ども基金救援カレンダー」が届きました。引率者として参加した教師のタチヤナさんから、カレンダーを手に入れている子どもたちの写真が送られてきました。他のウクライナの町と同じように、ナロジチでも空襲警報の発令が続いています。早く平和で静かな環境で暮らせるようになってほしいです。

* * * * *

ナロジチ・リツェイ（ジトームル州ナロジチ）

「カレンダーをお送り下さりありがとうございます。保養に参加した子どもたちに渡しました。私たちの学校のうれしいニュースをお知らせしたいと思います。保養に参加した一人、ユーリヤ（写真右）が、ジトームル州の歴史オリンピックで2位になりました。これはナロジチのような小さな町にとっては、とても大きなニュースです。

（教師 タチヤナ）」

* 「リツェイ」は、特に専門分野の科目に重点を置いて履修するタイプの義務教育課程の学校です。



★ 2025 年の支援計画 ★

みなさまの募金のおかげで2024年もチェルノブイリの子どもたち、被害者たちへの支援活動を行うことができました（詳細は10頁の決算報告に記載）。ご支援に心よりお礼を申し上げます。

ベラルーシの保養施設「ナデジダ」は国の管理下におかれるようになりますが、病気の子どもたちの保養プロジェクトは引き続き行います。しかし募金額の減少により、残念ながら2025年も同施設での「チェルノブイリ被害者家族の保養」を見送ることにしました。

2025年もウクライナ緊急支援を継続します。ウクライナの子どもたちの保養プロジェクトは、子どもたちの安全を最優先に進めてまいります。

これからもご支援いただけますようどうぞよろしく願いいたします。

<ベラルーシ>

●子ども健康回復センター「ナデジダ

（希望）」「腫瘍病の子どものための保養」

●慈善団体「困難の中の子どもたちへ希望

を」この団体を通じて里子の支援、会員の子どもたちの医薬品代、スタッフ給料と事務所維持費の一部。

<ウクライナ>

●慈善団体「チェルノブイリの子どもたちの生存」

この団体を通じて里子の支援。スタッフ給料と事務所維持費の一部。

●「汚染地域に住む病気の子どものための保養」：ウクライナ西部の保養施設で実施。

●「内分泌代謝研究所」甲状腺手術後の患者への医薬品代。

●ウクライナ緊急支援 戦争により厳しい状況にあるチェルノブイリ被害者のための生活費、医薬品代、医療費。

ベラルーシ・子ども健康回復センター ナデジダ（希望）

「ナデジダ」の政府側、及び非政府側参加者たちの間にあった、これまでのような協力関係が変化したことにより、ドイツ国内の9つの社会団体が参加する「子どもセンター“ナデジダ”の友人たち・ドイツ」と、ベラルーシ・ミンスク市の社会環境団体「真のパートナーシップ」という2つの非政府組織の参加者が、有限合併社会団体「子ども健康回復センター“ナデジダ”」の参加メンバーから離脱し、センターの出資基金における自身の出資分をベラルーシ共和国に譲渡するという苦渋の決定を下すに至りました。

前号（2024年10月発行）ニュースレターに上記「ナデジダ」からの連絡を掲載しました。その後、2025年2月までに国側に譲渡されることがベラルーシ国内のメディアで報じられました。しかしこの間も私たちはナデジダの旧知の職員たち、そして経営から離れざるを得なくなったドイツのNGOと連絡を取り続けています。

<ナデジダからの連絡>

「2025年に向けて私たちと海外パートナーが計画しているすべてのプロジェクトを実行します。さまざまな変化にも関わらず、パートナーとの協力関係が失われないよう、そしてこれまでの活動を維持するだけでなく、さらに発展していくことを心から願っています」

<ドイツNGOからの連絡>

「私たちは来年（2025年）もナデジダでのプロジェクトを継続します。特に、来年こそ続けることが大事だと思っています。これまで海外のNGOがプロジェクトを実施してきている、これからもそれを継続する、ということ国側に対して示し、私たちのプロジェクトの実施の可能性を失わないようにするためです」

国の管理下に置かれることになるナデジダでこれまで通り保養ができるのかと不安に思っていました。ドイツNGOの「来年こそ続けることが大事」という考えに共感しました。しかし、現在、日本から「ナデジダ」の銀行口座に送金することが困難なため、保養を実施するドイツNGOとの協力が不可欠です。幸い、このNGOも子ども基金と協力を続けることを約束してくれています。そのため子ども基金は2025年もナデジダでの保養プロジェクトを実施することに決めました。

ウクライナからの便り

前号ニュースレターの発行からこれまで事務局に届いたウクライナの人々からの手紙を紹介します。ウクライナ国内にいる人も、海外に避難している人も、大変困難な状況が続いています。

NGO「チェルノブイリの子どもたちの生存」 代表 ザクレフスキー

●2024年11月19日

空襲警報はほぼ毎晩発令されています。11月17日は非常に激しい攻撃がありました。しかしキーウ（キエフ）は他の町に比べると被害はひどくありません。

オヴルチとナロジチはここ数カ月、ロケット弾やドローンによる攻撃を受けていません。しかし、町の上空をドローンやミサイルが頻繁に飛行しウクライナ西部に向かっているため、空襲警報は頻繁に発令されています。これらのロケット攻撃の結果、こちらでは再び一日数時間にわたって停戦するようになりました。

●12月2日

子ども基金から支援を受けているオヴルチ市のウラディスラフ（30歳）と電話で話しました。前向きに生活している様子が嬉しく思いました。空襲警報が出たときには、住んでいる集合住宅の地下に避難すると言っていました。一方、ナロジチに住んでいるツヴェトコフ家の母親にも空襲警報時のことを聞いたところ、ナロジチにある2か所の避難施設（村の中心にある学校と病院）は自分の家から遠いため、そこまで歩いて避難するのは難しいから家に留まっている、ということでした。

●12月15日

里子の家族の家では、飼い犬が空襲警報の音に反応をしなくなったと話していましたが、うちのネコも同じです。今年（2024年）も私は、よく近くの公園や林の中を散歩しましたが、1年を通して鳥の鳴き声がほとんど聞こえませんでした。キツツキなどが木をつつく音がごくまれに聞こえただけでした。戦争が終わり、私たちの公園や林の中に鳥たちが戻ってくることを願っています。

ニコライ（40歳）チェルニヒウ（チェルニゴフ）

●2024年11月29日

こちらはもう寒くて、雪が降っています。私は少し体調を崩しました。一日に8~10時間も停電します。停電すると暖房も止まりますので、家の中はとても寒いです。空襲警報と砲撃が絶えず続いています。この忌々しい戦争にはもううんざりです。一体いつになったら終わるのかと思います。真理さん（基金事務局長）、ウクライナの戦争について日本ではどのように報じられていますか？もう自分には力がありません。

インナさんは2014年に子ども基金の招きで来日、子どもの頃に甲状腺手術を受けた自らの体験を話しました。2022年7月から夫と娘とドイツに避難しています。

インナ（43歳）

●2025年1月10日

新年は家族と一緒に静かに迎えました。母と妹はキーウに住んでいますのでとても心配です。母は一人暮らしをしていて、私たちをととても恋しがっています。体が弱いのです。妹は時々母の様子を見に行っていますが、小さな息子がいるために、そんなに頻繁に行くことができません。

夫は仕事を見つけましたが、今のところ研修中で、半日だけの仕事です。しかしここドイツでは、家族の誰かが（たとえ少額または半額の給料であっても）働いている場合、家族全員の社会保障と援助がすべて取り消されるという規則があります。ですから私たちは厳しい状況にありますが、よくなっていくことを願っています。私はドイツ語の教育課程を修了したのに、残念ながらまだ仕事を見つけることができません。こちらではウクライナ人を正規の職員として雇いたがりません。なぜなら、ウクライナ人はいつでも祖国に帰ってしまう可能性があるので信頼できない、と考えられているからです。

娘の通っている学校は、家から片道1時間かかる

遠い場所にあります。ドイツ語だけを学ぶ移民向けのクラスで、3年生になりました。娘にはドイツ語を習得することが難しく、通常のクラスに移ることができません。でも一方で彼女にはすでに何人かの友だちができたので、少し明るくなりました。

ここにはウクライナ人の子どもがたくさんいますが、そのほとんどは母親と一緒に（父親なしで）避難してきています。残念ながらウクライナ人同士が出会い、交流できる場所がほとんどありません。ウクライナ人の子どもたちはドイツの子どものグループに入りたがりません。だからウクライナの子どもたちは携帯電話を手にして座り込み、悲しんでいるのです。

でも生活は全体的にはすべて順調です…。退屈な日常生活です。

オリガ (38歳) ジトーミル

●2025年1月20日

こちらの状況はさまざまです。私は少し体調を崩しています。季節性の風邪のようです。風邪薬とビタミン剤を飲んでます。先週はとても美しい雪が降りました。雪が降るのは久しぶりでした。そのとき夫は、近くの公園にある空中ブランコに乗ろうと誘いました。前から乗ってみたいと思っていましたが、私は高いところが苦手なのでためらっていました。でもその日初めてそれに乗れ、忘れられない経験をしました。この空中ブランコは、まるで白鳥が円を描くように旋回し、空高く飛ぶような感じなのです。そして私は大空を飛んだのです！自分の住んでいる素晴らしい街の風景を眺め、幸せな気分になりました。とにかく今は、健康状態が良くなるように努力しています。ここ数日はとても暖かい天気が続いているので、早く元気になって外を歩きたいです。それにしても、1月に気温が+7度になるということは、これまで一度もありませんでした。

ユーリヤさんに新年のお祝いメールを送信したところ返信がなかったため、Facebookにメッセージを送ってみたところ、次の返信がありました。ドネツク

市は2014年からロシア側支配地域にあります。

ユーリヤ (39歳) ドネツク市

●2025年1月14日

連絡をありがとうございます！2025年明けましておめでとうございます！実はロシアがGoogleとYouTubeをブロックしているため、私の携帯電話ではGoogleサービスにアクセスできず、長い間メールにアクセスできていません。また連絡します。

●2025年1月21日

私のことを覚えていてくれて本当にありがとう！昨年の春頃、あなたに何度かメールを送りましたが、返信がなかったので心配していました。届いていなかったのでしょうか？昨年の夏以来、Googleが使えなくなりました。FacebookとViberにログインする方法を知ったのは9月になってからでした。あなたはお変わりないですか？新年のお祝いと共に、あなたのご健康と幸運、心の平穏を祈ります。

※上記のニコライさん、オリガさん、インナさん、ユーリヤさんは、子どもの頃に甲状腺の手術を受け、子ども基金の保養プロジェクトに参加していました。

下記のユーラさんは子どもの頃、ウクライナ民族合唱団「チェルボナ・カリーナ」の団員でした。子ども基金は団員たちを日本に招待し、日本各地で救援コンサートを開催しました。ユーラさんは来日メンバーの一人でした。

ユーラ (40歳) キーウ市

●2025年1月6日

年末にチョコレートを食べたら歯が一本折れてしまいました。年明けの4日に歯科治療を受けるために、2年ぶりに外出しました（町を歩いていて戦争に動員されることがあるので外出しませんでした）。その前にまず、冬用のコートを探さなければなりません。2年間をずっと家で過ごしていたので冬服は必要なく、コートは大分奥の方にしまわれていました。どうぞあなたも十分に休養をとり、体に気をつけてください。あなたの健康を祈っています。



里親のページ

これまで里親支援金は、子ども基金から現地慈善団体の銀行口座へ送金し、各団体からそれぞれの家族へ直接渡していました。戦争が始まってからウクライナへの送金の際には、銀行から毎回「送金できない可能性もある」と事前に念を押されますが、今のところ問題は起きていません。ベラルーシへは日本から直接送金ができなくなっているため、長年協力関係にあるドイツのNGOと連携して支援を継続しています。

* * * * *

【里親支援を受けている子どもたち】

アルチョム (17歳) ベラルーシ・ゴメリ市
心理的発達障害、言語発達障害のため、5歳から幼稚園の特別クラスに通園し、言語聴覚士の治療を受けていた。8歳の時、股関節の痛みを訴え、検査を受けたところ肺への転移を伴う右腸骨ユーイング肉腫（悪性の骨腫瘍）と診断された。化学療法と放射線照射療法を受けたが、腫瘍を完全に取ることはできなかった。現在も定期検査を受けている、肝臓の薬、腎臓機能を改善する薬、また免疫力を高めるためのさまざまなビタミン剤などを服用している。

ナスチャ (5歳) ベラルーシ・ゴメリ市
左外耳道閉鎖症。左槌骨（耳の中の小骨）形成不全。血小板症。言語発達の遅れがある。三つ子のきょうだいイリヤとステパンの二人は、筋緊張が低い。足が弱く、手と指の運動能力が発達していない。言語発達の遅れがあり、幼稚園では言語療法に重点を置いたグループに入っている。母親（35歳）は出産前に容態が悪化し入院していた。3人の子どもは生まれて9か月目から2歳になるまでマッサージ、運動療法、薬物療法を受けた。ナスチャは2歳4か月で障害児認定を受けた。



慈善団体から贈られたクリスマスプレゼントを手にする3人きょうだい。真ん中がナスチャ。

★かつて里親支援を受けていたベラルーシのユーリヤさん（32歳）から、元里親のMさんに嬉しい知らせが届きました。

~~~~~

Mさん、こんにちは。誕生日のお祝いメッセージをありがとうございます。とてもうれしく思います。そして私からも、あなたのお誕生日をお祝いします。あなたの幸福と、夢が叶うことをお祈りします。

こちらは万事順調で、みんな元気になっています。両親と弟のアルチョムがあなたによろしくと言っています。アルチョムは10年生で、学校に通っています。私の家族もあなたの誕生日をお祝いしています！

今年私は結婚し、息子を出産しました。夫の名前はジェーニヤ、息子の名前はローマです。2024年11月25日、息子は生後4ヶ月になりました。家族が増えて、とても幸せです！

2024年11月27日 ユーリヤ



ユーリヤと息子ローマ

## チェルノブイリの歌声 ～みなさまからのメッセージ～

★戦争は子どもたちから「子どもの時間」を奪う。保養で「幸せな子どもの感情を取り戻すことができました」という言葉に涙があふれました。（大阪府 Tさん）

★ウクライナの子どもたちが今年（2024年）の夏に無事過ごした写真を見て安心しました。（石川県 Tさん）

★長い年月の応援、貴重です。少しでも関わることができて嬉しいです。（東京都 Kさん）

★いつも通信を送っていただきありがとうございます。心を痛めながら読んでいます。（神奈川県 Tさん）

★戦争と核の恐怖から子どもたちと人々を守ってくださいと神様にお祈りしています。（東京都 Hさん）

★カレンダーの写真の中の子どもたちは笑っていたり微笑んでいたたりして、幸せな時間を過ごしていることが伝わってきます。どれもいい写真です。どの子もいい表情です。（愛知県 Sさん）

★カレンダーをお送りいただきありがとうございます。この境遇下での子どもたちの明るく元気いっぱい顔が見られびっくりすると同時に、安心いたしました。これも皆様方の支えがあればと感謝いたします。（愛知県 Oさん）

★皆様のご活躍と現地の日でも早い終戦と安定を祈ってます。（埼玉県 Yさん）

★チェルノブイリ原発の事故の後、幼い子どもを連れて反原発のデモに参加したことを思い出します。あれからもう40年近く経ってしまいました。その後福島原発でも重大事故があったのに自公政権はおよそ事故から学ばないようで、情けない思いです。皆様のように地道に活動を続けていらっしゃる方々に心からの敬意を表します。来年は貴会のカレンダーと「原発とめよう秩父人」のカレンダーを見ながら過ごそうと思います。（東京都 Kさん）

★ウクライナ・ロシアの戦争が早く終わり、チェルノブイリ事故被害者の方々が安心して療養

できる日が来ることを願うばかりです。（和歌山県 Hさん）

★世界中の子どもたちの笑顔が絶えない時がいつか来ることを信じて。（東京都 Tさん）

★日頃から、長年にわたり地道に救援活動に取り組まれる皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。（北海道 Sさん）

★貴基金のブログ10月号を拝見いたしました。保養キャンプに参加した子どもたちが、口々に戦争の恐怖を語っていたのがとても痛ましいです。本当に早く終わらせてほしいです。（東京都 Uさん）

★1986年の原発事故によって38年もの間、心も身体も暮らしも苦しみの中にいる子どもたちがいること、大人になっても続くこと、この先もまだまだ続くということに深いためいきと、憤りを覚えます。そしてカレンダーを買うことによって、支援の輪の中に入れて下り感謝します。スタッフの一人おひとりが守られますように。（東京都 Kさん）

★ウクライナの子どもたち、全世界の子どもたちに明るい未来が訪れます様に。（東京都 Hさん）

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

●クリスマス献金をいただきました「川和保育園」様からのお手紙の一部をご紹介します。

「12月20日、21日とクリスマス礼拝を捧げ、クリスマスをお祝いしました。神様が見守って下さり、与えて下さる愛とさまざまな恵みに感謝しながら、近くの間を想うのと同じように、遠く離れている人々のことを思い、自分にできることを考えてきました。そして子どもたちは家族と共に想いを馳せ、少しずつ献金を準備してきました。一人ひとりの心のこもった大切なお金をクリスマスに捧げることができたこと、嬉しく思います。小さな力ですが、少しでもチェルノブイリ子ども基金の皆様の活動のお手伝いできましたら幸いです。

2024年12月25日

## ベラルーシとウクライナのチェルノブイリ被災地の子どもたちへプレゼント

### ベラルーシ

#### 【NGO 困難の中の子どもたちへ希望を】

ゴメリ市



小児がんなど病気の子どものためのクリスマス会が開かれました。NGO「困難の中の子どもたちへ希望を」代表ポホモワさんからの報告です。

「子ども基金のみなさん、支援者のみなさん、新年を前にしてみなさんのご多幸とご健康、ご繁栄、ご成功、そして穏やかな空をお祈りいたします。2024年12月26日、子どもたちのためにお祝いの会を開きました。子どもたちはお菓子や果物のプレゼントを受け取りました。歌や踊りもあり、とても楽しく過ごしました。私はこの会の中で、日本のチェルノブイリ子ども基金のみなさんが、あなたたちを助けるためにどれだけ尽力しているかについて、たくさん話しました。残念ながら、私たちの団体の会員であったステパンという男の子と、アントニーナという女の子が亡くな



りました。私たちはこの二人を偲んで黙禱を捧げました」

\*\*\*\*\*

### ウクライナ

#### 【オヴルチ子ども芸術アカデミー】

ジトームル州オヴルチ市



NGO「チェルノブイリの子どもたちの生存」代表ザクレフスキーさんからの報告です。

「2024年12月27日、オヴルチ子ども芸術アカデミーでは素晴らしいお祝いの会が行われました。子どもたちにはお菓子とジュースのプレゼントが渡されました。また、各教室の優秀作品に選ばれた子どもたちには先生から表彰状も渡されました」

●ニコライ校長からのメッセージ「子ども基金のご支援に心より感謝いたします。子どもたちはみなさんからのプレゼントを受け取り、大変喜んでいました」



**2024年度決算報告書**  
【2024年1月1日～12月31日】

| 収 入                  |                   | 支 出             |                   |
|----------------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 項 目                  | 金 額               | 項 目             | 金 額               |
| 前期繰越                 | 6,936,657         | 救援              |                   |
| 募金                   |                   | 医薬品・物品          | 3,030,544         |
| 救援一般                 | 6,728,472         | 保養費             | 4,757,972         |
| 保養費                  | 686,200           | 団体運営費*2         | 531,369           |
| 里子支援                 | 3,426,784         | 里子支援            | 3,688,025         |
| ウクライナ緊急支援            | 1,122,868         | 緊急支援*3          | 1,382,997         |
|                      |                   | ウクライナ緊急支援       | 738,395           |
|                      |                   | 派遣費             | 0                 |
| 救援キャンペーン             |                   | 送金・為替手数料        | 63,000            |
| 2024年6月イベント          | 110,294           | 福島の子どもへの支援      |                   |
| 2024年6月イベント賛同金       | 88,100            | 未来の福島こども基金      | 132,381           |
|                      |                   | 救援キャンペーン        |                   |
|                      |                   | 2024年4月イベント     | 100,595           |
| ニュースレター購読料・運営費       | 448,642           | 事務運営費           |                   |
| 預貯金利息                | 902               | 国際 Tel・Fax      | 0                 |
|                      |                   | 国内 Tel・Fax      | 80,882            |
| 2023年12月ベラルーシ送金の戻り*1 | 5,912,311         | 印刷・コピー費         | 23,836            |
|                      |                   | ニュースほか発送費       | 414,461           |
| 物販売上                 |                   | 人件費             | 1,915,126         |
| 本・ポストカード・CD・民芸品      | 121,083           | 交通費             | 122,151           |
| カレンダー2024            | 313,420           | 事務消耗品費:         | 145,854           |
| カレンダー2025            | 1,437,750         | 事務所費            | 849,828           |
|                      |                   | 広告・宣伝費          | 0                 |
| 小 計                  | <b>27,333,483</b> | 資料・会議費          | 0                 |
|                      |                   | 国内振込手数料         | 29,020            |
| 合 計                  | <b>27,333,483</b> | 物販仕入            |                   |
|                      |                   | 本・ポストカード・CD・民芸品 | 17,727            |
|                      |                   | カレンダー2025       | 740,170           |
|                      |                   | 小 計             | <b>18,764,333</b> |
|                      |                   | 次期繰越金           | <b>8,569,150</b>  |
|                      |                   | 合 計             | <b>27,333,483</b> |

\*1 2023年12月末にベラルーシNGO宛に送金した2024年分の支援金が、2024年3月に銀行から返金された。2024年5月、9月にドイツNGOの協力を得て再度送金した。

\*2 ベラルーシNGOの2024年分の支援金。ウクライナNGOへの2024年分の支援金は前年(2023年)末に送金。

\*3 里親支援を受けていな困窮家庭の病気の子どもの支援。

※カレンダーの収入・支出とも次年度にまたがります。

2024年度版のカレンダー収益は735,455円でした。

2024年度の会計監査の結果、適正であることを認めます。

2025年1月31日

会計監査

監事 鈴木 由利子  
監事 清水 玲子



# 募金・救援状況



## ●募金状況 2024年10月～2025年1月 (単位：円)

|         | 10月       | 11月     | 12月       | 2025年1月 |
|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| 募金件数    | 121       | 252     | 221       | 44      |
| 救援寄付金   | 1,244,993 | 429,110 | 1,311,616 | 189,428 |
| 保養費     | 113,400   | 86,700  | 42,200    | 2,500   |
| 里子支援    | 0         | 151,170 | 1,310,140 | 194,330 |
| ウクライナ支援 | 58,500    | 71,770  | 110,100   | 14,000  |
| ニュース購読費 | 14,000    | 50,000  | 62,000    | 14,000  |
| 合計      | 1,430,893 | 788,750 | 2,836,056 | 414,258 |

\*10月「生活協同組合パルシステム東京」様より802,286円の平和カンパをいただきました。その他、図書カード、切手のご寄付をいただきました。

## ●救援状況 2024年10月～2025年1月 (単位：円)

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| <b>&lt;ウクライナ&gt;</b>                |           |
| ◎チェルノブイリ子どもたちの生存                    |           |
| 里子支援 (半年分×5人)                       | 236,820   |
| 緊急支援 (半年分×3人)                       | 143,172   |
| 運営費：通信費、家賃、スタッフ給料×3人 (2025年1月～12月分) | 604,504   |
| ◎オヴルチ子ども芸術アカデミー                     |           |
| 子どもたちへのクリスマスプレゼント代                  | 152,394   |
| <b>&lt;ベラルーシ&gt;</b>                |           |
| ◎困難の中子どもたちへ希望を                      |           |
| 里子支援 (半年分×37人)                      | 1,692,843 |
| 緊急支援 (半年分×47人)                      | 640,535   |
| 医薬品 (甲状腺ホルモン剤、カルシウム剤)               | 2,360,871 |
| 運営費：通信費、家賃、スタッフ給料×4人 (2024年分の残額)    | 531,369   |

### ♡ 団体名一覧 ♡

(順不同・敬称略)

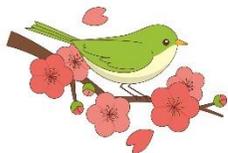
紙面の都合上個人名は省略させていただきます。ご寄付をいただいたみなさまに心よりお礼を申し上げます。

【10月】生活協同組合パルシステム東京、日本ユーラシア協会 未来の福島子ども基金、(株)桜井書店

【11月】広島のうたごえ協議会 川和保育園父母の会、(株)アウレオ、日本ウクライナ文化交流協会、ACT21、未来の福島子ども基金、稔台教会

【12月】イエス・キリスト教会 祈りの家、日本キリスト教会 横浜桐畑教会、日本基督教団 代々木上原教会ガラリーヤ会、小倉台キリスト教会教会学校 憩いの家・麦、プーの森、川和保育園、ふえみん婦人民主クラブ、中振キリストの教会、恵泉女学園中学・高等学校 宗教部、恵泉女学園中学・高等学校 恵泉デー委員会、プーシェルアキウ、未来の福島子ども基金、奥中山教会

※子ども基金が支援したものにつきましては、現地団体が購入後、領収書と写真を含めた報告を送っております。



### ★2025年チェルノブイリ救援カレンダー★ 在庫ございます！

お買い忘れの方、ぜひ3月からお使いください。1部1000円・送料9部まで200円、10部以上300円)。収益は次号ニュースレターでご報告します。

### ★募金振込口座のご案内★

いつもあたたかいご支援をまことにありがとうございます。同封の振込用紙によるお振込のほか、以下の口座へ直接お振り込みいただけますので、ご都合のよい方法をご利用ください。※振込用紙以外でお振込の場合は、お名前、金額、ご寄付の内容のご連絡をお願いいたします。

(1) 郵便振替口座 00160-4-98316 口座名 チェルノブイリ子ども基金

(2) ゆうちょ銀行口座 店番 019 店名 〇一九店(ゼロイチキョウ店)

預金種目 当座0098316 受取人名 チェルノブイリコドモキケン

(3) 三菱UFJ銀行 支店名(番号): 新宿中央支店(469)

口座番号: 普通 1688367 口座名: チェルノブイリ子ども基金



# 事務局から

■2 頁に掲載のウクライナの子どもの絵画展の開催にご興味をお持ちの方は、以下へご連絡をお願いいたします。ウクライナでの開戦後に描かれた絵だけでなく、チェルノブイリ事故当時の子どもが描いた絵も所蔵しています。

★「非核・平和を求める写真・絵画展事務局」  
連絡先: 0561-58-7568(杉浦/愛知県瀬戸市)

## ■「基金ニュースター」について

ご寄付をくださった方に、使途の報告としてニュースターをお送りしています。ニュース購読費(2,000 円/年)も募っております。印刷・発送などの経費の残金は、募金として使わせていただきます。

※ニュースターは子ども基金のHPでもご覧いただけます。今後、郵送がご不要の方は、お手数ですが事務局までご連絡をお願いいたします。

※発送経費を節約し、なるべく多くのお金を子どもたちの保養や医薬品に活用したいと思っております。長期間、ご寄付等お振込みのない場合は発送を停止させていただきます。

## ■ボランティア募集

ニュース発送作業(年3回:2・6・10月):お手伝いいただける方を募集します。次回は、2025年6月中旬の予定です。

場所:東京ボランティア・市民活動センター(飯田橋駅ビル セントラルプラザ 10階)

※参加ご希望の方は、前日までにメールかお電話でご連絡ください。電話は平日午前10時～午後5時。留守の場合は伝言をお願いします。

~~~~~

★編集後記★ 2024年2月号のこの欄には「ロシアのウクライナ侵攻からまもなく2年を迎えます」とあります。戦争が終わらないまま、また1年が過ぎてしまったのかと、やりきれない気持ちになります。ウクライナでは空襲警報がまるで日常の出来事ようになってしまっています。↑

＊＊ ご協力いただいているみなさまへ ＊＊
振込用紙と領収証につきまして、みなさまにお知らせとお願いです。

すべての方に振込用紙を同封しております
事務作業の都合により、まことに勝手ながらすべての方に郵便振込用紙をお送りしております。決して募金を強要するものではありません。また、すでに通信費・寄付金を納入された方はどうぞご容赦ください。

払込取扱票のお名前・ご住所は楷書で ご記入ください

郵便局からは払込取扱票のコピーが届きます。文字がかすれて判読しづらい場合がございますので、楷書でわかりやすくご記入ください。

「受領確認の葉書」をご希望の方へ

通信費・寄付金を納入された方で受領確認の連絡をご希望の方に、葉書(金額は記載せず)をお送りします。振込用紙の該当欄に印をつけてください。

「領収証」が必要な方へ

郵便局払込取扱票の「払込受領証」は公に認められる領収証です。大切に保管ください。別途領収証がご入り用の際は振込用紙の該当欄に印をつけてください。

2月、3月に展示される絵を描いた子どもたちは、戦争が終わることを願いながら、看護師、花屋、芸術家、獣医、体操選手など、それぞれ将来の夢を抱いています。自由で平和な空の下、みんなの夢が叶う日の訪れることを願わずにはいられません。また、厳しい状況が続くベラルーシの病気の子どものための支援もできる限り続けていきます。子ども基金の活動を支えてくださっているみなさまに心より感謝致します。(事務局)



●チェルノブイリ子ども基金 NEWS 年3回(2・6・10月)発行●

住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町3-16-15-408

Tel/Fax 03-6767-8808

E-mail: cherno1986@jcom.zaq.ne.jp

◇ウェブサイト <http://ccfj.la.coocan.jp/>

◇事務局ブログ <http://blog.goo.ne.jp/cherno1986jimukyoku/>



※当基金は任意団体のため、ご寄付は税金控除の対象とはなりません。ご了承ください。